

生活基盤施設耐震化等交付金チェックシート

計画の名称：盛岡市管内における老朽管更新及び重要給水施設への耐震管路整備による水道管路の強靱化推進

事業体名：盛岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 第三次盛岡市水道事業基本計画（もりおか水道ビジョン）において、施策の方向性として災害対策の充実、計画的な施設の更新が示されており、上位計画との整合が図られている。	○
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性） 東日本大震災（平成23年3月11日発生）による断水の発生等、災害に強い安全なまちづくりが必要なことから、事業計画の目標との整合は図られている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業計画の目標と定量的指標の整合性 成果目標（定量的指標）として掲げた老朽管耐震化率及び給水安全度の向上により、事業計画の目標達成に向け推進が図られることから、整合は図られている。	○
②定量的指標の明瞭性 成果目標（定量的指標）は、事業実施に伴い数値化出来ることから、明瞭である。	○
③目標と事業内容の整合性 老朽管更新及び重要給水施設への管路の耐震化事業を実施することにより、目標として掲げた災害に強い安全なまちづくりの推進が図られることから、整合は図られている。	○
④事業の効果の見込みの妥当性 事業実施に伴い、管路の耐震性の向上及び病院等重要給水施設への給水安全度の向上は明らかであり、事業効果の見込みは妥当である。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等） 関係機関等と協議を行い、円滑な事業執行に向け取り組んでいる。	○
②地元の機運（当該事業に係る要望等） 災害に対する対策の強化は必然であり、事業への理解は得られている。	○